

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果【児童発達支援】

事業所名	Wapi藤沢				公表日	2026年 4月 1日		利用児童数	33名		回収数	18名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18										
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18										
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		1	バリアフリーにはなっていない						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18										
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18										
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18										
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				こどもの特性を踏まえた上で、毎回支援して頂いて大変心強く感じています。個別支援計画書に関しては、目標がピンポイントな設定になっているようにも感じているため、もう少し作成前の話し合いに時間をかけたいと感じました。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18										
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			2							
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10		3	5	個別支援を希望しているので必要ないと感じている	保育所等訪問等に関わることはありませんが、現在は機会が持っておりません。今後、園との交流も増やしていければと思います。					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18										
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1			もう少しこういった機会があると心強いです。個別に相談にも乗っていただいている。保護者参加の勉強会もあった。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2		1							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18										
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	1	6		CafeWapiという親御様同士で交流を持つことを目的とした会を開いています。					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18										
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18										
保護者への説明等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		5		ホームページやSNSを通じて活動等の情報の発信を行っております。ホームページの見やすさについては今後検討していきたいと考えております。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18										
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		2								

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14		4	今後、年に2回、避難訓練の実施を予定しております。また、掲示板を設置するなど、避難訓練の様子を共有できる方法を検討していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17		1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1		毎回ニコニコで通所しており、細かな指導のおかげで日々の成長がよく感じられ、また保護者のメンタルケアまで大変満足しております。専門職の方達による支援や説明があり、親の相談にものっていただける事がありがたいです。

## 公表 事業所における自己評価結果【児童発達支援】

事業所名		Wapi藤沢		2026年 4月 1日	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・お子様1人につきスタッフ1人の配置で行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		・事業所のあるビル入口から事業所入口まで階段があるので、上るのが大変な利用者さんとも思います。 ・玄関に入ってすぐに段差がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7		・お子さんが3人重なる時はパーテーションを使用し活動に合わせて空間を区切っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・お子さんが複数の時間帯では打ち合わせをした上で、スタッフで臨機応変に声を掛け合いながら個室を使用している。 ・集中する工作などの活動は個室で行っています。	・個室が限られているので、クールダウンが必要ときに適切な環境で対応できないことがある。 ・個室が一つしかないため、お子さんのそれぞれのペースに合わせてあげることは難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・専門職会議を行っている。 ・週に1回、事業所内での研修が開催されています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			・支援プログラムはホームページなどで公開されていないので今後公開されると良いと思う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別療育のため、集団活動を実施していない。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・2人や3人同時刻に来所される場合には必ず、事前に部屋割りの打ち合わせを行っている。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・気がついたタイミングで共有・打ち合わせを行っていますが、なかなか共有の時間が取れていないと感じます。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・Hugでの記録記載や申し送りノートを作成している。		
23 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・最大半年に一度、モニタリングを行い計画書の作成をしている。		
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者のほかに普段関わっているスタッフも同席している。		

→事業者追記：支援プログラムの未公開は減算対象であり、HP上で公開されていることを職員全員に周知済

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・今年度は新たに聴覚センターとの連携を取り研修を受ける機会があり良かった。 ・神奈川県聴覚障害者福祉支援センターと児の難聴に対し連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保護者のご希望に沿って行うことになるのではと思う。 ・保護者からの要望を受け、共有シートの作成をしている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		・在籍している園での活動の機会はあるが、他は今のところない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・保護者からの相談には迅速に対応をしている。また、児や保護者の様子で気になる点があれば、こちらからもお声がけもしている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・保護者同士の交流の機会を設けるためのCafeWapiを開催しています。 ・CafeWapiの開催を通して、保護者同士の交流ができています。その際、きょうだい同士の交流も増えています。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・希望があった際には家族支援を行っている。フィードバックの中でも、相談事に各スタッフが対応している。その後で解決できないことは、スタッフ間で共有・相談後対応を行っている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・グループやインスタグラムでの発信を行っている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・研修でてんかん発作時の緊急時対応のロールプレイを行いました。 ・対象者の情報共有や発作時の対応について、ロールプレイングを行っている。	
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		・食品の提供をおこなっていない。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・報告書の提出や動画での振り返りを通して、再発防止に向けた検討をしている。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止のための研修会が開催されています。 ・職員全体へ向けて、社内研修がある。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				

公表

## 事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	Wapi藤沢		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を行っており、お子さんひとりひとりに合わせた支援ができる。	療育内容についての打ち合わせ、振り返りをスタッフ全員が把握できるように伝達方法を工夫している。 事前にスタッフ同士で打ち合わせを行い、活動に合わせた個	療育や保護者と話した内容を細かく記録し、スタッフ全員がお子さんの姿や環境設定について理解が深まるように引き続き取り組んでいく。
2	『CafeWapi』を通じて、事業所から毎回のテーマに沿った情報提供を行っている。その際、保護者同士・きょうだいの交流が増えてきていること。	CafeWapiを開催した際に親御さん同士で話し合う時間を設けることで、悩みや情報を共有し、安心感に繋がるようにしている。	保護者からのご要望やスタッフ間での振り返りをもとに、今後のテーマや内容を充実させていく。
3	神奈川県聴覚障害者福祉支援センターと連携を始めて施設の見学や研修を行っている。	事業所スタッフに研修を行っていただく機会や、お子さんの難聴に対しご相談させていただく機会があった。今後も引き続き連携が取れるようお声掛けしている。	今後も連携していく機会を設けていただくことで、より専門性の高い療育に繋げていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園との交流や、地域の中での交流の機会が少ないこと。	現状、事業所に主催で地域と交流を持つようなイベントは開催していないことや、保育園や幼稚園との保育所等訪問以外での交流がないことが考えられる。	まずは近隣の保育園や幼稚園との関係性を築くところから取り組んでいく。
2			
3			